

2013年桜井市社会保障推進協議会総会

この間の経過報告

2011年	
9月29日	総会
10月26日	社保協定例会議
11月	桜井市長選挙候補者への公開質問状送付 竜吟荘署名1000筆目標で取り組む 公開質問状の回答を中心に社保協ニュース発行 13日 桜井市長選挙投票日 15日 社保協定例会議
12月7日	社保協定例会議
2012年	
1月10日	社保協定例会議
17日	桜井市自治体キャラバン対市交渉 初めて文書にて回答を得る
2月10日	社保協定例会議
3月11日	「原発ゼロ震災復興をめざす集い」
22日	社保協定例会議 対市交渉の結果をもとに社保協ニュース発行
4月2日	「4月1日消費税導入の日」の大宣伝の取り組み
18日	増税反対シンポジウム
21日	内閣官房主催の「明日の安心対話集会～社会保障と税の一体改革を考える～」参加
26日	社保協定例会議
5月31日	社保協定例会議
6月15日	年金支給日高齢者怒りの集会（年金宣伝）の取り組み
21日	平和行進
7月19日	社保協定例会議
7月28日	県社保協総会 記念講演 唐鎌直義氏
8月30日	社保協定例会議
9月27日	社保協定例会議
10月26日	桜井市自治体キャラバン対市交渉
11月21日	社保協定例会議
2013年	
2月7日	社保協定例会議
8日	県社保協学習会『どうなる？！社会保障』中央社保協相野谷氏

4月1日	社保協定例会議
6日	消費税反対宣伝
13日	県社保協学習会『子どもの貧困問題学習会』中塚久美子氏
5月13日	社保協定例会議
6月7日	社保協定例会議
14日	年金宣伝
17日	平和行進
22日	奈良県社保協第15回総会
7月26日	社保協定例会議
8月22日	社保協定例会議
9月19日	社保協定例会議
10月10日	社保協定例会議
17日	総会

前回の総会後の取り組みの概略として（2011, 9～2013, 8）

前回2011年9月末の総会後、桜井市では市長選挙が行われました。この時、桜井市社保協として初めての公開質問状を二人の候補者に行い、その回答を部内文書として広く知らせました。この取り組みがのちに、子どもの医療費の無料化の拡大につながりました。また、この時、高齢者総合福祉センター竜吟荘の風呂の復活を求める署名にとりくみ1000筆を超える署名を新市長に託しました。

年が明けてすぐに延期していた「軍事費削って暮らしと福祉・教育の充実を」国民大運動奈良県実行委員会主催の自治体キャラバンを行い、その交渉の場で新市長がはじめて出席、挨拶をすると同時に、この時の交渉から行政側の文書回答がなされるという画期的前進がありました。この交渉の概略報告を2012年3月に社保協ニュースとして全市的に折り込みしたところ、チラシをみたと意見もよせられました。4月2日には、「4月1日 全国消費税導入の日」の大宣伝に取り組みました。また、県社保協の呼びかけに応じて、内閣官房主催の==明日の安心対話集会==にも参加し当時の小宮山大臣に、「消費税を上げるなんてもってのほか、この間の消費税が福祉に使われたなんておもえない。税の負担は応能負担にすべき」と直接訴えることもできました。6月には、給付が下がるということで年金宣伝に取り組みました。平和行進にも参加しました。7月末の県社保協総会にも複数で参加し、記念講演の唐鎌直義氏の話をきいて「労働者階級の生きる手段としての、また、労働者階級のためにあるのが社会保障ということがよくわかりました。一略一 かつて炭鉱労働者がストライキして最終的に、生活保護制度がストライキの労働者を支えたことを知ったのも新鮮でした。」と感想が寄せられました。10月には、通常の自治体キャラバンの取り組みとして、二度目の交渉も行い、文書による回答の末、いくつかの要求実現を行うことができました。

2013年2月には、県社保協主催の「どうなる？！社会保障」の学習会に参加しました。中央社保協から相野谷安孝氏を講師としてむかえ、政府の社会保障改悪の中身がよくわかりました。このことは、今年の夏の参議院選挙にむけて大きく宣伝行動していく推進力になりました。来年4月に消費税が8%に増税されることをどう思うか？のシール投票とあわせて、4月に消費税反対宣伝に取り組みました。そして、今回の総会にお呼びするきっかけともなった県社保協主催の「子どもの貧困問題学習会」の中塚久美子氏の講演にも参加しました。講演では、具体的な数字で子どもの貧困を知ることができ本当に驚きました。6月には、またもや給付が下がるということで年金宣伝に取り組みました。平和行進の予定が急に変更になって午前中の行進でしたが、これにも構成員に呼びかけを行い参加しました。また、高齢者総合福祉センター竜吟荘のお風呂の再開を約束させましたが、そこに行く交通手段がない高齢者のために廃止された巡回バスの復活をめざす、新たな署名をスタートさせました。

この2年を振り返ってみて、独自の学習会こそできませんでしたが、県社保協の活動に呼応しながら会議を定例化し、時には会議の中で「生活保護とは？」を互いに学んできました。

地域の要求をいち早くつかみ運動に発展させる事ができたのも、毎回の各団体の情報交換を意識して行ってきたからです。また、街頭での宣伝活動も積極的にとりくみ、平和活動にも参加しました。

今後とも、桜井市の社会保障充実のために情報発信とあわせて、市民の要求実現の活動に力をいれていきます。

基本方針

1. 規約に基づき、全ての桜井市民が健康を保ち、いつでも安心して良い医療・介護・福祉が受けられるような真の社会保障制度の確立をめざし活動します。
2. 住民諸要求の実現をめざします。
3. 要求実現のためのあらゆる交渉や申し入れ、関係者との懇談を行います。桜井市では市長交渉、各課交渉を行います。
4. 国や県、市の予算・決算の分析を行ない、対案の政策を提起します。
5. 繙続的な学習、署名活動、宣伝行動などを組織します。
6. 全市民への宣伝を行います。
7. 他団体との共闘に取り組みます。

今年度重点課題(2013・14年度)

- ① 介護保険制度の改悪を許さず、安心して利用できる介護保険制度を求めます。
- ② 国保の広域化に反対し、市民が安心できるよりよい国民健康保険制度を目指します。
- ③ 保健予防制度と子どもの医療費の無料化を拡大します。
- ④ 竜吟荘「巡回バス再開を求める」署名運動に取り組みます。
- ⑤ 社会保障の宣伝や学習活動に取り組みます。
- ⑥ 憲法九条を守り平和問題に取り組みます。

社会保障推進協議会（社保協）とは

日本の社会保障制度の改善をめざして、労働組合、医療、福祉関連の諸団体、女性団体などの組織が集まって、1958年に創設されました。共同して運動をすすめる組織です。

1960年代の朝日訴訟、小児マヒから子どもを守る運動、70年代の老人医療費無料化の運動、80年代から今日にいたる医療、年金、福祉、介護などの改善運動をすすめてきています。

また、県や地域に組織をつくり、地域の要求にもとづく運動をすすめています。桜井市社会保障推進協議会は、地域における（地域）社保協です。

現在、全国労働組合総連合（全労連）など、27の労働組合、全国保険団体連合会（保団連）など、13の民主団体が参加しています。

いま、介護保険や国民健康保険制度の改善の他、来年予定される医療制度の「改革」に、大きな問題ありと反対の運動をすすめています。